

日中友好新聞

発行所 日本中国友好協会
〒111-0053 東京都千代田区浅草橋1-2-3
電話 03(5839)2140(FX)
FAX 03(5839)2141
http://www.jpfco.jp
E-mail: jpfco@jpfco.jp
TEL: 0119-1-2176

日中友好協会 岡山支部
〒700-0024 岡山県北区下野馬場
西野1-53 民生会館1F
TEL: FAX: 0861-258-5808

日中友好協会 倉敷支部
〒713-8033 倉敷市南町西通224-45
TEL: FAX: 0861-415-7860

日中友好協会岡山支部 総会報告 ③ 新年度の新たな活動方針 決まる

6月11日に開かれた総会で、新たな方針を採択しました。改めて掲載して、昨年度に引きつづく活発な活動を展開の指針とします。まずは日中友好運動の重要性が増す昨今です。

多彩な活動には、多くの会員や、市民の方々の協力と助言や提案を必要としています。また、より大きな支部の組織的建設も大事です。

【2006年度活動のすすめ方】

- ①憲法改悪反対の声を、国民の過半数にしましょう。
- 戦後61年。日本国憲法を守るという一点で国民が手をつなぎ、あらゆる努力をしましょう。
- 国民投票法案を阻止しましょう。
- 平和の波おかやま2006年の運動に参加し、成功させましょう。
- 日中戦争の歴史的真相を集めた資料の普及や展示を、積極的に行ないましょう。
- 盧溝橋事件7・7 柳条湖事件9・18 平和の集い12・8 建国記念の日を考える岡山県民の集い2・11 など、他の民主団体と連携して取り組みましょう。
- ②帰国者や中国人留・就学生など、岡山の中国人との交流を強め友好を深めましょう。
- 帰国者の実情を知り日本語教室の充実など、積極的な支援をしましょう。
- 中国 残留孤児国賠訴訟の支



- 中国留・就学生などの生活や意見を知り、幅広く交流や支援の活動をしましょう。
- ③岡山・玉野に強制連行され、強制労働で亡くなった中国人の慰霊祭を開きましょう。
- ④文化活動をさらに強めましょう。
- 魅力のある企画を立て日中文化講座を充実させましょう。多くの市民に参加を呼びかけましょう。
- 太極拳講習会、中国語講座、き

☆わたしにできることは何？☆

第11回孤児裁判を傍聴して 高梨公美子

中国 残留孤児の裁判で7月5日、岡山地裁に行きました。傍聴は、5月の裁判に続き2回目。今回は香川県の女性原告一人が口頭弁論をしました。

池下洋子さんは二人で帰るには小さすぎるし、両親がいない、養父母の同意が必要だから帰れなかった。日本人なのに帰ることができない、自分は帰りたいのに帰ることができないと訴えました。

も一人の女性原告、山崎すみ子さんは二人のとき家族とともに満州へ行きました。

学校に通えたのは小学校一年一学期のときだけ。逃げる時に弟が死に、近くの山に埋めた。逃げる途中で、中国の人に服などを盗られ、お金もなく日本に帰ることができなくなったと訴えていました。私は、ずっと日本で育ってきた同じ年令のひとと全く違う生活をしてきた。教育もあまり受けていない、中国でいじめられていた。ずっとつらかった。最後に言いました。

わたしには、この言葉が重くのしかかりました。あの時日本政府が中国にいた日本人みんなを日本に帰していれば、こんなことにはならなかったのに...と思いました。

私にできることは何か。できることを、少しずつやってみようと思いました。

- ⑤組織を大きくしましょう。
- 倉敷支部との連携・交流を強め、ともに発展させましょう。
- 県西部に、新しい支部を作る働きかけをしましょう。
- 青年部の確立をめざし、働きかけましょう。
- 活動の四原則(理事会の定例化、新聞の配布・集金の確実化、会員・準会員の拡大、具体的な催しをする)を守って活動し、大きな支部をつくりましょう。
- (才)会員や内外の声を集めて、新聞、ニュース、インターネット・ホームページを充実させましょう。
- (力)会員ひとり一人の力で、新聞読者を増やし運動の理解者を増やしましょう。
- (キ)本部への 当月納入を確実にするために、集金活動を日常的にしましょう。
- ⑥日中国交回復34周年を、友好運動を他団体と共同してさらに発展させましょう。

中国を訪れたのは、今回で5回目です。何度訪れてもなつかしい思い出がよみがえってきます。私は10年中国にいて八路軍の軍人として勤務して来ました。当時は終戦後で、北満から大勢の人(日本人)が、無蓋車にいついば乗って、途中で子供さんの死又病気等で困っておられる人達の看護もしてました。

その上八路軍の一週間もの長い行軍、目的地に到着すれば兵士の看護 又行軍を繰り返している内に国民党軍に攻められ、私達の部隊も長白山脈まで逃げました。この間傷病兵を連れ、山を越え昼夜となく働きました。

傷病兵に治療するくすりには、日本軍が置いていった馬にする注射液でした。私達は心配しながらもそのくすりを傷病兵にしたものでした。

中国での年月は言葉に表わせない、つらいきびしい日々でしたが、今の私には楽しかった事のみが残っておりません。そのなかで勉強をし、行動の中で学び、私の思想を変えてくれたのは中国共産党です。感謝しています。

年老いて来ましたが元気でいる限り、私の第二の故郷、中国へ足を運び発展していく中国を見続けていきたいと思います。

倉敷支部結成記念 中国の旅 紀行文 ④

わたしが見た 感じた 考えた

10年中国にいて八路軍の 軍人として勤務

栗本スエコ

又様々な苦労を重ねた中国残留孤児の皆さんの事を思うと人事とは思われません。

いつの日かお会いして、お互いに話し合いの労をねぎらいたいと思います。

最後に今回の旅に参加された皆様に、老齢の私をいたわり、はげましてくださいました事に大変厚く感謝し、心よりお礼申し上げます。今度のたびは説明もくわしくいろいろの事を見分出来ました。大変有意義な旅でした。

日中友好協会岡山支部ホームページ
http://fzhong.web.infoseek.co.jp
新・メールアドレス
fzhong86@hotmail.co.jp

日中友好協会岡山支部ホームページ
http://fzhong.web.infoseek.co.jp

日中友好協会岡山支部ホームページ
http://fzhong.web.infoseek.co.jp

子どもの日々をたづねて

孤独感と責任

6月1日は中国の「子どもの日」だ。この日を迎え中国の子どもたちの状況を紹介したい。

中国では1978年から「一人っ子」政策が実施されて28年になるが、政府の統計によると、3億の人口減を果たし、現在全国でほぼ1億人の一人っ子がいるそうだ。

兄弟姉妹のいない一人っ子たちの交友関係は、どうなっているのだろうか。先日有力ネット新聞が6000人を対象に調査を行った結果によると、61.3%の子どもは一人っ子として孤独を感じ、幸せも悲しみも分かち合える相手がないと思っている。66.9%の子どもは兄弟姉妹を欲しがっている。大人に囲まれている子どもたちの生活や勉強を覗いてみよう

芳芳ちゃん(蘭州市小四)は、日記でその寂しい心情を綴った。

両親とも一人っ子で、わたしも兄弟がいないのだ。毎年大晦日には祖父母の家、元旦には外祖父母の家で過ごすのだ。大人たちはテレビを見たりご馳走を作ったりしていて、私はいつも一人ぼっちだった。何人かの友達に電話をかけたかったが、一人も通じなかった。みんなも私と同じ境地かとも思った。家を抜け出し、思い切つて爆竹に火をつけた。パンパンと激しい音がして気分が爽快になった。

芳芳ちゃんのような一人っ子は両親、祖父母と外祖父母、つまり6人の家族関係に置かれている。学校外では子供同士の交流や、かつて群がって遊んでいた子供の姿があまり見られなくなった。携帯電話、インターネットが普及し、子供たちの交流

する方法も変わった。しかし、ネット上では不良交友、未成年アクセス、ネット依存などの問題が、保護者や関係者を悩ませているのだ。

一人っ子たちはもう一つの試練を乗り越えなければならぬ。それは親や祖父母たちの期待に応えて、必死に勉強せざるを得ないことだ。

ただ一人の子を立派に育てようと、大人たちは力が入る。子どもが生まれた時から早期教育が始まる。子どももビジネスを狙った外国人が言う。美術、スポーツ、芸術、音楽などの天才教育は、中国では強い関心が集まっている。

「特権的な満鉄 憤る話を聞いて」の

真実は

その2

青木康嘉

特権的な立場でなかった一般の満鉄社員はソ連侵攻後どうしたか、少し触れておきたい。

まず、南満洲鉄道株式会社(満鉄)の歴史から説明しないとわかってもらえないだろうが、紙面の都合があるので簡単に説明したい。一九三四(昭和九年)に満鉄が発行した『満鉄の概要』という本に、次のような記述がある。

満洲は日本の生命線である。而して満洲に於ける日本の生命線は満鉄である。日清、日露の両役に、十萬の生霊と二十億の国幣を犠牲にして勝ち得た満洲における特殊権益の重心をなすものは蓋し満鉄であり、満鉄は創業以来既に三十年に垂々とする今日まで心血を注いで之が方図の基

エリート教育は幼少期から行われている。保育園から英語による教育が始まり、中学校では数学オリンピック(1979年から開始した数学コンテストで、アメリカを始めとした30カ国や地域から15万人の小中学生が参加している)のための訓練が、強化される。小・中・高校の各段階で入学試験があり、進学校を目指して、子どもたちは勉強やお稽古に時間を取られて、子供同士の交流や遊びを割愛せざるを得ないのだ。

東東君(上海市 中二)は郊外にある進学校に在学中、通学時間は片道1時間、自宅に着くとすぐ夕食の時間、それからトランプとピアノの練習を1時間ずつして、休むことなく宿題に取り掛かるのだ。夜10時に就寝できたらいよいよだ。友達と遊ぶどころか、テレビを見る余裕もない。馮琦君(山西省 中三)の夏休みは、朝9時半に勉強机に着き、まず夏休みの課題を1時間やり、それから

ら数学の演習と国語の暗誦を1時間ずつやる。昼ごはんを済ましてから、馮琦は再び勉強机に向かう。作文の練習を1時間、読書を1時間やらなければならぬのだ。最後に1時間の英語のリスニングをするのだが、『ミオとジュリエット』だの『種の起源』だの、面白くなって馮琦は懸命に勉強したにもかかわらず、なかなか思う通りにならないのである。

急成長に伴って、学歴志向の社会となった中国では、一人っ子は親や祖父母たちの高い期待をうけて懸命に勉強しなければならぬ。一方、内陸



1929 (昭和4)年3~7月の撮影 大連埠頭工事?

の農村部では子どもたちは、義務教育も決して満足に受けられていないと言えない。

(川崎医療福祉大学教授 ・社会学)

の資産を略奪することである。シベリアに抑留された日本人が約六十万人、凍土のシベリアでわずかなパンとスープレの飢えの中の強制労働で十万人以上の死者が出た。また、満洲国「および満鉄の資産の略奪の点では、半藤一利の『ソ連が満洲に侵攻した夏』に次のように書いている。

満鉄の資産だけでも約五十億、日本政府や満洲国政府、在満法人や個人財産の資産をあわせれば総計四百億と推定される。

東京鞍山会の体験記 鞍山不滅のえにし』を読むと、昭和二十年八月二十二日にソ連軍一個小隊が鞍山に進駐してきた。八月二十五日からソ連兵と反日中国人による日本人襲撃・暴行が続出する。九月二十五日から昭和製鋼所の解体作業が始まる。

この風景は、満鉄関連の工場では至る所で見られた。残留した一般満鉄社員は、この解体作業の技術面や輸送面に多くが従事した。同書の久米満枝の『満鉄機関士の夫とともに』で次のように書いている。

夫は、奉天機関区に機関士として勤めていた。八月十一日、彼女の家族は北鮮に疎開する。しかし、十月に奉天に戻ってきて、夫は、機関士に復職した。満鉄社員で給料をもらっていたのは機関士など限られていた人でしたとある。しかし、翌年六月、夫が発疹チフスで亡くなり、幼子を一人抱えてその年の秋に引き揚げていく。

このように、特権的な満鉄社員は、上層部のことだけである。一般社員は、召集、男狩りのシベリア行き、満鉄資産の解体作業、機関士として継続して働くなど、様々な戦後があった。女性や幼子への暴行・略奪、強姦など辛苦の難民生活や引揚があった。比較しても仕方がないが、満蒙開拓団の奥地からの逃避行や引揚と比べれば、その悲劇は軽かったのかも知れない。

しかし、一番問題なのは、ソ連軍と交渉した山田乙三大将以下の関東軍司令部の無策と日本政府の冷酷さではなからうか。重光葵外相にあってた、避難民の惨状電報に対して、政府はなすすべがなかった。関東軍司令部は、むしろ日本人の在満土着方針すら希望している点である。

一九四六(昭和二十一年)五月から、葫蘆島より引き揚げが始まった。この年に一〇五万人が帰国した。しかし、残留孤児や残留婦人は棄民されたままの状態だった。こうした問題を考えようと、そこに、今日の中国残留日本人孤児の国賠訴訟の焦点である『早期帰国義務違反』の原点が浮かび出てくると思える。

次回の新聞送付作業は

8月1日(火)午後1時半、民主会館で随分行ないます。前回お手伝いくださいました方です。

由木 田山 和 青小 真澤 竹内 真竹 内